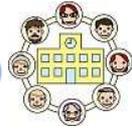


地域とともに学校を創る



～気高地域学校統合準備委員会だより～

第8回気高地域学校統合準備委員会を開催しました

第8回委員会の議論について

12月17日、委員19名とアドバイザーの参加のもと、第8回気高地域学校統合準備委員会が開催されました。

委員会の中では、新しい学校の設置位置について、すでに要望内容を決定した学校種も踏まえ議論を行いました。新しい学校の設置については、学校の開校時期や子どもたちの通学面の安全性など、子どもたちの教育環境の充実を図れるよう、子どもたちにとってどのような形が良いのかを優先し議論を進めています。



今後も委員会では、新設学校の位置について、気高地域の子どもたちをどう大人にしていきたいのかという視点を大切にしながら、また将来の気高地域のまちづくりの視点も踏まえ議論を重ね、その中で得られた結論を教育委員会に検討結果として提出したいと思います。

各校のPTAが集約されたご意見やご質問を紹介します 令和3年12月17日時点

- ・浜村小教育振興会は浜村小学校の位置が良いという意見が多かった。特に浜村駅周辺は踏切が心配との意見が多かった。
- ・逢坂小PTAは、浜村駅周辺の新しい場所と校舎でスタートするのが良いという意見が多かった。
- ・駅南側の土地は広く将来のことを考えると適地だと考えている。
- ・瑞穂小PTAは浜村駅周辺がいいのではないかと意見が多かった。
- ・浜村小学校周辺の道路環境が悪く通学時などに危険を伴う、また吸収された感が強く、他の小学校出身者が馴染むのに時間がかかる。
- ・通学に公共交通機関を利用する場合、浜村駅周辺の方が利便性が良い。
- ・宝木小PTAも、浜村駅周辺が良い。4小学校が統合して新しいスタートを切る際には、新しい場所の方が良い。
- ・気高中PTAは、浜村小学校の位置が良い。統合までのスピード感が大事だという意見が多かった。



◆学校の場所について

各小学校が子どもの数が少なくて困っているなら、スピード感をもって整備を進められる既存の浜村小学校を活用する形も良いと思います。



宝木、瑞穂、逢坂小学校のPTAの皆さんは、少し時間がかかっても新規用地に学校を建てる方がいいという意見が多かった。

場所がどこに決まっても、まずは安心安全に通学できることが大事だと思います。



通学環境も踏まえて場所を検討しています

新たな小学校の開校により、自宅から学校までの通学距離や時間など通学環境がかわってくるものが考えられます。委員会の中では、新設校の候補地2カ所からの距離や交通事情などにも配慮しながら、場所を検討しています。

また具体的にどのような手段で通学するのかについては、後期の委員会で議論をする予定です。これからの協議においても、学校や地域の実状、保護者や地域の皆さんのご意見も伺いながら、議論をすすめていきたいと思えます。

◆各地区からの通学距離の目安◆

	浜村小学校周辺	浜村駅周辺
新町1・2	0.78km	1.79km
船磯	3.22km	4.27km
日光	2.71km	2.03km
高江	1.36km	1.83km
会下	1.66km	2.36km

※地区内でも場所によって距離は異なります

通学方法は、公共交通機関等の活用も含め検討していきます。



◀資料はこちらから
鳥取市公式ホームページ

(気高地域学校統合準備委員会について)

発行：気高地域学校統合準備委員会
事務局：鳥取市教育委員会事務局校区審議室
TEL : (0857) 30 - 8405
E-mail : kokushingi@city.tottori.lg.jp